

平成28年度事業計画について

当協会は、公益財団法人への移行（H25.4.1）に伴い、「新法人の体制再構築」「がん検診事業」「指定管理受託事業」の3つのあるべき姿について、今後5年間の事業展開のためのガイドラインとしての中期事業計画を作成（H24年度）し、目標の達成のための事業実施計画を作成（H25年度）した。平成28年度については、中期事業計画の4年目に当たり、過去3年間の事業計画の進捗状況を踏まえて確認・検証を行い、国の方針や社会情勢に併せて中期事業や組織の見直し、整備を行い強化を図っていききたい。

具体的な取組みとしては、がん検診事業に関しては、平成28年度より胃がん検診は内視鏡を導入し、乳がん検診は視触診との併用しなくても検診が可能になり、肺がん検診は福井県の胸部写真読影指針が変更する等、がん検診の在り方が大きく変わる事が予想される。よって、平成28年度の具体的な取組みとしては、肺がん検診の検診体制の強化や読影体制の環境の整備の検討等、検診体制の在り方を抜本的に見直して平成29年度までに再構築を図る。また、がん検診の体制の変更による受診率の低下を防ぐために啓発広報事業や新規開拓事業等にも重点をおき受診者拡大を図る。さらに技術スタッフには、環境や体制の変化に対応できる様に専門的な知識の習得し業務の効率化やサービスの向上に努める。

次にふくい健康の森管理運営事業に関して県民健康センター事業は、受診者のニーズに合ったオプションの見直しの検討や検査体制のIT化等、健康診断の受入体制や検査体制を整備し強化を図る。また、けんこうスポーツセンターや生きがい交流センターは施設間の連携事業に重点を置き、協会の特性を活かした事業展開をして利用者増を図る。具体的な取組みとして、けんこうスポーツセンターは従来行われている、減量月間や効果測定などに加え、バランス改善教室を県民健康センター受診者にも促し、県民健康センターとスポーツセンターの連携事業の強化を図る。また、利用者のニーズに合った有料教室を取り入れることにより、利用者増に努める。生きがい交流センターは、「けんもりフェスタ」をけんこうスポーツセンターと同日に開催し、フェスタの規模を拡大し利用増を図る。また、生きがい交流センターの利用者は減少傾向にあるが、それを防ぐために広報活動の強化を図り、来ていただいた利用者の方に対しサービスの低下と思われぬような環境整備の強化に努め利用者の利便性向上に努める。また、森全体としての取組みとしては、福井県が取組んでいる「ふくい健康の森 利用者倍増計画」に全面的に協力することにより、福井県と連携して「ふくい健康の森」の活性化に取り組む。

中期事業計画については、平成28年度は事業の状況変化等による見直しと再構築をし、それに基づいて次期中期事業計画の原案の制作に取り掛かり、平成29年度にはその結果に基づいて「明日のあり方検討会」に諮り、次期中期事業計画の策定に努める。

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づく、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取組み、必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額）662,244千円

(1) 28年度で行う主な中期事業計画の取組み

ア 中期事業No.1,20 がん検診事業

がん検診事業体制の変更による事業体制の見直し(胃内視鏡印刷物作成、システム変更)

事業経費 2,300千円

- ・胃がん検診：内視鏡検診の導入
- ・乳がん検診：マンモ単独検診

- ・肺がん検診：胸部写真読影指針の変更による体制の変更
- イ 中期事業No.2 がん検診事業（新規事業）
- 受診者の少ない検診会場から受診者を送迎し、一箇所の会場に集約して検診実施することにより経費の削減に努める。また、各医療機関の子宮がんや大腸がんの検体を協会が回収することによって医療機関の作業負担を軽減し、受診勧奨の促進に尽力してもらう事により受診拡大を図る。
- 事業経費 2,944千円
- ・検診会場送迎事業
 - ・子宮がん・大腸がん検体回収事業
- ウ 中期事業No.11 がん検診事業（新型車両導入）
- 女性が受診しやすい環境整備およびイメージアップと肺がん検診体制の強化を図る。
- 事業経費 46,594千円
- ・子宮がん検診内診台の導入（福井市保健センター）
 - ・肺がん検診車製作（H27年度 結核予防会に補助金の申請中）
- エ 中期事業No.12,14 がん患者サポート事業、がん征圧キャンペーン事業
- がん患者とその家族、介護者等の心身の健康と社会生活の支援のための体制づくりと的確なサポートを行う。
- 事業経費 3,844千円
- ・がんサロンの開設および周知、ケア帽子の寄付、患者会との連携強化
 - ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいの開催
 - ・ピンクリボンキャンペーンの実施
- オ 中期事業No.13 がんに関する広報事業
- がん検診の重要性・必要性について幅広い広報を行う。
- 事業経費 1,780千円
- ・啓発用資材の配布（乳がん自己触診手袋、ネーム入りボールペン等）
 - ・ショッピングセンター等でのイベント開催
- カ 中期事業No.51 IT推進事業
- がん検診・健康診査事業の手作業で行われている業務を見直し、IT化することにより作業ミスの防止と効率化を図る。
- 事業経費 449千円
- ・料金項目追加システムの構築
 - ・郵便番号・住所検索機能システムの構築

(2)がん検診事業

		28年度計画（人）			27年度見込み（人）		
		集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦
胃がん		20,000	12,000		25,910	3,920	
大腸がん		45,000	12,500		45,120	12,940	
肺がん	X線	39,300	13,500		39,720	14,190	
	喀痰	620	200		630	200	
子宮がん		13,300	13,500	6,000	13,440	13,870	6,010
乳がん		13,650	8,000		14,020	7,910	
計		131,870	59,700	6,000	138,840	53,030	6,010
合計		197,570			197,880		

(3)がん検診受診勧奨事業

県内市町のがん検診の未受診者対象者に電話等で受診の勧奨を実施する。

対象者数 : 30,000人(27年度見込 35,000人)

(4)健康診査事業(県民健康センター)

コース名	28年度計画(人)	27年度見込(人)
総合健康コース	1,400	1,290
一般健診	2,800	2,860
骨密度健診	240	250
特定健診	10	20
特定保健指導	100	100
その他の健診	130	300
計	4,680	4,860

(5)無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数 : 1,210人(27年度見込 1,110人)

(6)啓発・キャンペーン事業

ア がん征圧月間(9/1~30)・結核予防週間(9/24~30)の取組み

他団体や企業との連携協力による、がん征圧月間広告等の掲示依頼やパネル展開催等活動、マスコミを利用した広告、広報活動を実施する。また、がん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等を関係機関に配布する。

イ 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェア等、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

ウ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会(ピンクリボンキャンペーン)、がん克服の会などの活動に積極的に参画、協力を行う。

エ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいの開催する。

オ 講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に専門的な研修会を開催し、専門分野に関する情報提供をする。

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくりに推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。

事業経費（総額） 409,831千円

(1) 28年度で行う主な中期事業計画の取組み

ア 中期事業No.29 個別運動指導事業（2拠点連携事業）

県民健康センターとスポーツセンターの連携により、受診者の体力づくりと生活習慣病予防を推進する。

事業経費 609千円

- ・減量月間、バランス改善教室 他

イ 中期事業No.31 体力づくり教室事業（2拠点連携事業）

生きがい交流センター利用者に定期的な体験型教室を開催し、スポーツセンター施設機能の周知と運動教室への参加を促し、利用者増を図る。

事業経費 76千円

- ・ポールウォーキング教室 他

ウ 中期事業No.33,36 利用促進事業

企業、学校等への勧誘および周辺地域への出前宣伝等により利用者の拡大を図る。

事業経費 663千円

- ・学校等への勧誘によるスポーツ公園の利用促進
- ・企業等の福利厚生への組入れ
- ・回数券・定期利用券販売促進

(2) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の健康増進各種教室および地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

利用者数： 3,500人（27年度見込：3,480人）

(3) 運動プログラム指導事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行、体力テストおよび3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスを行う。

利用人数：7,800人（27年度見込：7,600人）

(4) 生きがいくりに推進事業（生きがい交流センター）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいくりに取り組めるよう、高齢者いきいきフェアをはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催する。また、ふれあいコンサートや似顔絵展を開催し、利用者にやすらぎの場を提供する。

利用人数：12,130人（27年度見込10,900人）

(5) 体力づくり教室事業（けんこうスポーツセンター）

様々な年齢や体力に合わせた、フラダンス、キッズダンス等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催する。また、利用者ニーズに対応した教室を開催し体力づくりの実践指導を行う。

利用人数：56,330人（27年度見込：59,300人）

(6) 施設の提供事業

ア 県民健康センター

健康の増進に関する会議、研修等に会議室等の施設を提供する。

利用者数：430人（27年度見込：470人）

イ けんこうスポーツセンター

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用することにより、子供から大人まで幅広い年齢層を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供する。

内 容	28度計画(人)	27年度見込(人)
けんこうスポーツセンター・温水プール	201,400	204,300
健康スポーツ公園	44,500	52,100
計	245,900	256,400

ウ 生きがい交流センター

「健康の森温泉」として、屋内外に季節感を演出したり、入浴に関する情報提供を充実させるなど、独自色をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、こころとからだが安らげる場を提供する。また、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供する。

内 容	28度計画(人)	27年度見込(人)
健康の森温泉	177,530	159,260
交流ホール等	8,940	7,270
計	186,470	166,530

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業0等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 4, 920千円

(1) 28年度で行う主な中期事業計画の取組み

ア 中期事業No.44 健康フェア開催事業

健康の森の存在をアピールするため、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センターの拠点連携による健康フェアを開催する。

事業経費 570千円

- ・利用者感謝デー「健森ふえすた」の開催

イ 中期事業No.13 がんに関する広報事業

組織一体となった広報活動を行い、迅速で確実な情報を発信する。

事業経費 2, 000千円

- ・メディアを活用し、がん検診の必要性・重要性に関する広報と協会のアピール

(2) 研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表する。

28年度計画 30回（27年度見込 28回）

(3) 広報活動

ア 情報誌等の発行

“健康の森通信”の内容を充実強化し、健康の森を県民の健康づくりの発信地として情報提供を行い、協会のイメージアップを図る。

イ ホームページによる情報提供

ホームページを積極的に活用し、県民への情報サービスの質的アップと協会運営の透明化を図る。

ウ ロゴ・マスコットキャラクターの活用

ノベルティの作成およびイベント等での着ぐるみの活用による広報を実施する。

4. 法人管理

健康管理協会の法人運用に関する業務で法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 6, 699千円